

## ツベルクリン反応がなくなる？！

### 院長

皆さん、来年からツベルクリン反応（ツ反）が無くなるのをご存知ですか。今回はその理由と結核について考えてみましょう。

結核は、かつて国民病と呼ばれるような大きな問題で、昭和26年に国を挙げての対策のため結核予防法が大改正されました。対策としては、学童生徒に対するツ反とBCG接種による結核の予防、住民健診での早期発見が、主な柱となっていました。

昭和26年頃には結核は珍しい病気ではなく、新規の患者は60万人、結核による死亡も9万人を超えていました。結核への対策、公衆衛生の向上と医療の進歩によって、順調に患者数が減少しました。しかし、昭和50年代からその減少傾向が鈍り、平成9年には38年ぶりに前年を上回り、その後の改善は横ばいとなっています。平成9年の新規発生患者数は42,715人、結核による死亡者は2,742人となり、平成11年には厚生省（現厚労省）から結核緊急事態宣言が出されるまでになりました。宣言では、結核に対する認識の低下、耐性菌の出現、集団感染や院内感染の続発、高齢者の患者増加、地域格差などの問題点が指摘されています。

結核対策は患者減少に対しては十分な効果を上げてきましたが、現在の状況では従来の方法が、発病予防や早期発見に対して効率が良いとはいえなくなりました。そのような状況から新しい対応策が示され、効率的な定期健診、症状のある人や結核と接触した人の早期発見、乳幼児の重症結核の予防ということに重点を置くことになりました。その結果として、ツ反も中止されることになった訳です。

ツ反が中止になった理由を少し説明しましょう。まず子どもの結核が非常に少なくなったということです。乳幼児の結核は症状が出てから見つかることがほとんどで、ツ反だけで見つかることは極めて希になりました。また手技的にも乳児のツ反は難しく、多くの疑陽性を生む原因にも

なっています。疑陽性の子どもは精密検査や結核に対する予防投薬を受けることもあり、不必要な検査や治療を防ぐことも重要です。そのことから現在のままのツ反とBCGをセットにして行うことは、個人負担や費用の面からも中止していいという見解となりました。ただし中止となったのは、ツ反のみでBCGは従来のままです。BCGは乳児期の重症の結核予防に重要であることには変わりありません。小学1年、中学1年生でのツ反は平成15年度から中止されています。学校検診だけで結核が見つかることは極めて希です。むしろ健診を行っても、新規の患者さんを見逃すこともあります。またツ反陰性者にBCGを接種しても結核予防には効果がないという報告もあり、WHO（世界保健機関）でも廃止が勧告されています。ツ反よりも、症状のある人や結核と接触した人の早期発見が重要となってきているのです。仙台では平成15年から、ツ反に変わる問診を中心とした対策が導入されています。

今回は難しい話なので、少し整理しましょう。まず誤解しないで欲しいのは、結核が無くなったからツ反が中止になる訳ではないのです。結核は確かに減少していますが、患者数が横ばいの状態が続いているので従来とは違う予防対策が必要になったのです。その中でツ反の意味が薄れたことは確かです。ツ反は健診として行うものではなく、結核の診断の補助に行うことになります。

平成17年度から乳児期のツ反は廃止される予定です。しかし、BCGの重要性は変わってはいません。BCGの重要性は従来と同じです。生後6ヶ月までには、必ずBCGを接種しましょう。



### 8月のお知らせ

・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30~

栄養士担当 無料

・夏期休暇

8月14日(土)の予防接種はありません。詳しくは右側を。



### 夏期休暇について

大分での日本外来小児科学会(8/20~22)への参加もあり、少し長めのお休みを頂きます。

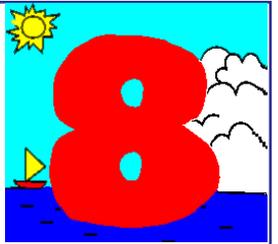
**8月16日(月)~21日(土)**

がお休みになります。

皆様には御迷惑をお掛けしますが、よろしく御理解とご協力をお願いいたします。なお投薬に関しては、休みを考慮して対応します。御遠慮なく、お申し出ください。

## 読者の広場

先月は22通のメールを頂きました。まず一人目は大阪に転居した遠藤さんからのメールです。「先日久しぶり(二年ぶり?!)に川村さんのところにお世話になりました。顔も覚えてくださって病院に行っても関わらずなんか嬉しい気持ちになりました。先生も元気そうでしたし、テレビなどでの活躍も多いそうですね(^-^)。川村先生のところのような小児科が大阪にはなくて(見つけれなくて)…幸い、清香はあまり病院にお世話にならずに健康に育っているのホッとしてますがね(^o^;)。これからも、先生自身お身体を大切に(\*^\_^\*)。それでは、また来年?! (^o^;/~)。また来年どうぞと、いう訳にはいきませんが、いつまでも掛り付けでいいですよ。続いては青葉区の北野さんからです。「こんにちは。先日はお世話になりました。あの後、午前中がうそだったかのように元気になり食欲もすごいらしく「もっと食べたい!もっと食べたい!」と大騒ぎです。子どもってすごいですね。先程、看護婦さんからお電話をいただきました。・・感激です。楓は親だけでなく、たくさんの人たちに育ててもらってるんだなと嬉しくなってます。幸せモノですよ。近頃、旭もいっちょまえに自我が出てきて2人の要求にうまく応えきれずイライラしてしまい、そんな時はどうしても兄ちゃんを怒られ役にしてしまっていました。そんな時に「自家中毒」騒動。ほんと、日曜はショックで点滴中の楓を見ていると涙が出てきてしまいました。(先生の言葉どおりそんなところは楓には見せませんでしたよ!)。先生の話聞いて、更に安心して涙が出そうでしたけど。でも、ほんとに最近の私は反省しなければいけなかったの、そうでなかったとしてもどうしていいかわからない楓と私からの「SOS」だったと思っています。今はちょっと立ち止まって、まだ「2才のお兄ちゃん」の気持ちを考えています。感情をむき出しにして、すごい顔で怒っていた先週末の私をどんな気持ちで、どんな目で楓は見ていたのかな。甘えたいのに受け入れてもらえなかった気持ちをどうしていたのかな。まだ2才の小さい手に針を入れてくったりしている姿を「あえて」目に焼き付けておきます。いつもおっぱいがあるからと旭と私。楓とお父さん。という勝手に決められたペア。救急病院に連れて行くときもはじめはおとうさんに・と言ってましたが、(略)私が楓に付きたいと当たり前前のことに気付きました。ひどい母。(今回のことで、初めて感じていたことを自分以外に話したら涙が・。情けない)。日曜の夜から甘えまくっているまだ小さい兄ちゃんは、快復が早かったです。気のせいかな、先週末の反抗期みたいなすごい行動がなくなってます。自分だけのトンネルに入っちゃうとなかなか抜け出せません。そんな時に、ちょっと手助けしてくれるのはこういう「ハブニング」なのかな。つい、逆らいたくなっちゃう教育者とは違って「お医者さんの言葉」もかなりの効き目でした。先生が作った病院は本当にいいところですね。温かみがあって、優しさがあって。泣きながら連れて来られてる子どもがないのが良くわかる。病院なのに皆、笑顔なのも。私も復帰したらお母さんたちにとって、かわむら小児科のスタッフのような保育士になりたい(おせじじゃなく!)。先生が積極的にメディアにでている理由も今回なんとなく(私なりに勝手に)うまいえないけど、感じています。先生はそういう役目も果敢とさないとはいけない「いそがしー小児科医」なんですね。子どもたちのため、私のような未熟な母のため、体に気をつけてこれからもよろしく願います。スタッフの皆さんにもよろしくお伝えください。」。子育ての大変さも伝わってきます。北野さんへはしっかり返事しましたが、クリニックは病気だけでなく、様々な形でお母さん達のお役に立ちたいと思っています。このようなメールを頂くと、スタッフ一同の励みにもなります。ありがとうございました。

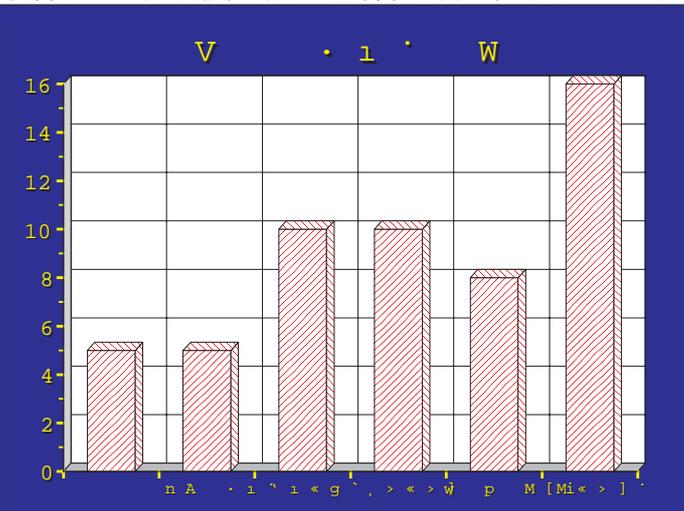


子育ての悩みの解消のためには、お父さん達の育児への参加や協力も重要な要素です。当院で開催している「お母さんクラブ」を、お父さん相手に開催することはなかなか難しいように思います。しかし、子育てにお父さん達を巻き込む努力も必要です。今回「お父さんクラブ」(仮称)を作ろうと思っています。何が出来るかは、これからです。取りあえずネット上で情報交換や子育ての話題や問題を取り上げてみませんか?。メーリングリストなどで活動するつもりです。難しく考えないで、まず何かしてみましょう。興味のある方は下記までメールを!

oyaji@kodomo-clinic.or.jp (二人のお父さんが参加を表明)

## 緊急 熱冷まし用ジェル状冷却シートの使用法について

生後4ヶ月の赤ちゃんの額に貼った冷却シートが、目を離れたすきに鼻と口を塞ぎ窒息する重大な事故が起きました。親御さんが目を離す場合や睡眠中は剥がすなど、シートの使い方には十分気を付けましょう。



水痘は減少傾向です。夏カゼの種類のヘルパンギーナがみられていますが、流行しているほどではありません。プール熱が話題になりテレビでも解説しましたが、あまり多くはありません。プール熱は咽頭結膜熱と呼ばれ、アデノウイルスが原因で結膜炎と高熱を伴う夏カゼの一つです。結膜炎を伴わないようなアデノウイルスによる感染症はかなり多く見られています。

### 編集後記

今年は昨年とは全く違い梅雨明けも早く、とても暑い夏です。日焼けや熱中症には、くれぐれも用心して下さい。毎年楽しいな夏休みがもうすぐです。去年は仙台での学会でほとんど休みがありませんでした。今年は、ゆっくり休もうと思っています。よろしくご協力ください。



東北放送ラジオ 毎月奇数木曜日 「漢太のウキウキラジオ」 13:10~ レギュラー出演中

「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」 残部少なくなりました。購入はお早めに!!